



きつねのごんた と



たぬきのぽんた



それに

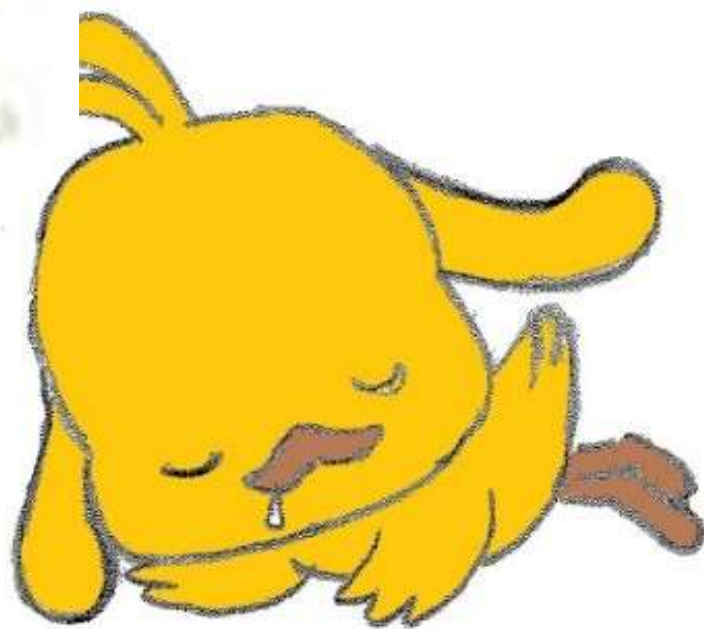
うさぎのような  
ひよこのひいこ



それと

ぶたのとんた  
もいるよ。

むかし、むかし、あるもりの中で、  
たぬきのぽんた と  
きつねのごんた と  
うさぎのような ひよこのひいこ  
が、くらしていました。



3びきはとてもなかよしです。

ある日、  
ぽんたが にんげんにうまれかわった  
ゆめをみました。



こまっている人を たすけると  
にんげんに うまれかわれるんだよ。  
かみさまからそういわれたんだ。

だから、  
こまっている人がいたら、  
みんなでたすけてあげようね。  
そうすれば、 にんげんにうまれかわれるよ。



わたしも  
うまれかわった ゆめをみたわ。



ごんたが良かったです。



こまっている人を たすけてあげるんだね。  
ぼくは、にんげんにうまれかわりたいから  
こまっている人には しんせつにするよ。



わたしも にんげんにうまれかわりたいから  
こまっている人がいたら しんせつにするわ。



そうだね。

ぼくも、人にしんせつにして、  
にんげんにうまれかわりたいんだ。

みんなで、にんげんにうまれかわろう。



ねえ、  
ひいこは、もしもにんげんにうまれかわったら  
どんな にんげんになりたいの？



わたしは、「こまったときに たすけてもらえる」  
そんな にんげんになりたいわ。

わたしは みんなから すかれないの。

みんなから すかされると  
こまったときに たすけてもらえるでしょ。

だから  
わたしは、こまっている人がいたら  
たすけてあげるの







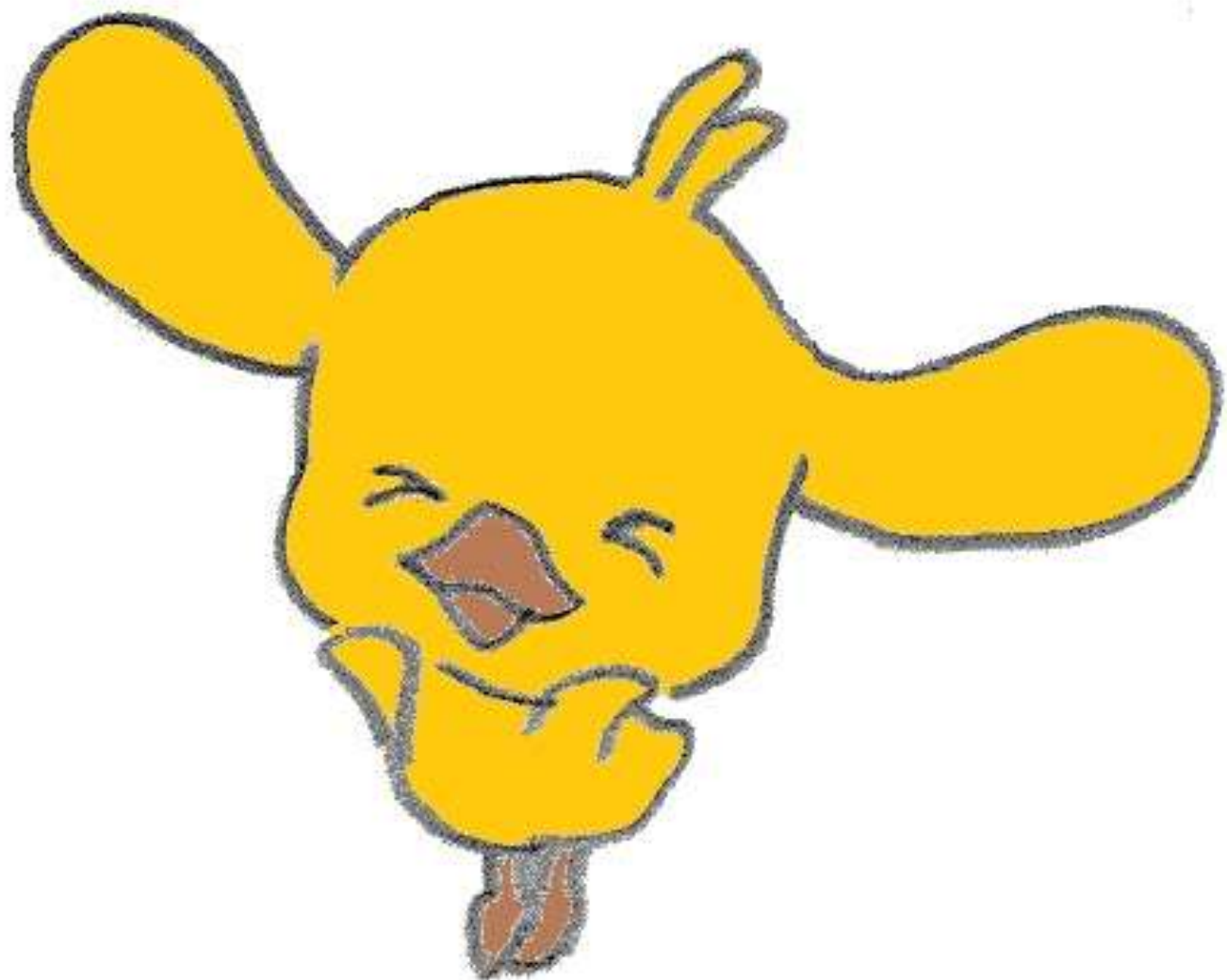
かみさまは、  
「まわりの人のおしあわせを  
ねがえる人は、  
じぶんも おしあわせになれる。」

っていってたよ。

それに、  
「じぶんがされたくないことは、  
人にもしないこと」 　っていってたよ。



わかったわ  
じぶんのしあわせ　だけでなく、  
まわりの人のおしあわせも　かんがえるんだね。



そんなある日、  
ひいこが、おなかが すいてたおれている  
ブタのとんたくんをみつけました。



どうしたの？  
だいじょうぶ？

この水をのんで、げんきをだして。



とんたくんは、小さなこえで、



「うう～、おなかがすいて うごけないんだよ。」

ひいこは、  
すぐに、ぽんたとごんたに  
しらせに いきました。



ねえ、ぽんたくん、ごんたくん。

たいへんだよ  
みちにたおれて うごけない人がいるよ



それは、たいへんだ。  
いそいで、たすけてあげないと...



それに、  
こまっている人に しんせつにすると  
にんげんに  
うまれかわるかもしれないものね。



それじゃ、  
いえにもどって、たべものをとってくるね。



3びきは、たおれている人を見て、  
かみさまのことをおもいだしました。



みんな  
たすけてくれて、ありがとう。

ぼくは、くろぶたのとんたです。



とんたくん。  
げんきになった？

ねえ、とんたくん  
ここで、みんなといっしょに、くらさない？

すっかりげんきになった とんたくんは、  
ぽんた と ごんた と ひいこ と  
いっしょに くらすことになりました。

ぽんたは、はたらきもので、  
まいにち、山にいった 木のみやくだものをとってきます。

ごんたは、川にいった さかなをとってきます。

ひいこは、はらっぱにいった  
たべられる くさをとってきます。

とんたは、  
ぽんたとごんたが とってきた たべものを  
たべているだけです。



とんたくんも  
なにかたべものをとってきてよ。



そうだよ、  
たべてるばかりじゃダメだよ。

ちゃんと、  
たべものをとってきてよ。

とんたは、  
なまけもので たべものをとりに いきませんでした。



ねえ、とんたくん  
わたしといっしょに、はらっぱに  
たべものをさがしにいかない。



ええ・・・  
そんなめんどくさいこといやだよ。



ぽんたとごんたは、  
なまけもののとんたくんが  
だんだんと きらいになりました。

それをしったひいこは、とんたくんにいいました



ねえ、とんたくん  
みんなで、たすけあって くらそうよ。

それに、  
こまっている人に しんせつにしてあげると  
にんげんに うまれかわれるんだよ



べつに、  
にんげんなんかに  
うまれかわれなくてもいいんだ。

ほくは、  
その日、その日が たのしければ いいんだよ。

そうって、  
ひいこのはなしを ききませんでした。

でも、やさしいひいこは、  
とんたくんにも  
にんげんにうまれかわって もらいたかったので、  
かみさまに そうだんしました。



ねえ、かみさま  
とんたくんは、なまけものなんだ。

このままだと、  
ぽんたくん と ごんたくんに  
きらわれてしまうよ、

どうしたら、  
なかよくなれるかなあ？





ひいこから そうだんされたかみさまは、  
4びきが、おたがいに どうおもっているのか？

みんなのころを  
たしかめてやろうとおもいました。



あ～あ、  
おなかがすいたよお



ぼくも おなかぺこぺこだよ。  
もう5日も なにもたべてないや。



みんなも、  
おなかが すいているんだろくなあ？



おなかすいたよ。  
だれか  
たべものもってきてくれないかなあ

4 ひきは、おなかがペコペコです。

かみさまは、4 ひき  
それぞれ べつべつに  
パンをあたえ、  
どうするのかを みまもりました。



みんな  
おなかが すいているんですよ。

みんなで、このパンを  
なかよくわけて たべなさいね。



もちろんだよ。  
だから、  
はやくパンをちょうだい。



みんなで、  
なかよくわかるんだね。



おなかがすいたよお  
はやく、たべたいよお





### (ぽんたくんのケース)

ぽんたは、かみさまからもらったパンを  
おなじ大きさに4つにわけて、みんなにくばりました。



### (ごんたくんのケース)

ごんたは、かみさまからもらったパンを  
じぶんとぽんたとひいこで、3つにわけました。  
ごんたは、とんたくんがきらいなので、  
とんたには、ないしょにして わけませんでした。







### (とんたくんのケース)

とんたは、かみさまからもらったパンをほかの3びきにはないしょで、じぶんひとりでたべました。



### (ひいこのケース)

ひいこは、かみさまからもらったパンをおなじ大きさに 3つにわけました。

そして、

じぶんはパンをたべないで、3びきにわけてあげました。



けっかを かくにんした かみさまは、

とんたくんに、

ひいこが

みんなにパンをわけたことをはなしてあげました。



とんたくん。

そんなじぶんかってだと

みんなから きらわれるよ。



わかったわ。

これからは、ひいこみたいに、

みんなのことをかんがえるよ。

たべものも、

みんなといっしょに さがしに行くわ。



それから、  
とんたくんは、ひいこのことが すきになり、

こまった人がいたら、  
たすけてあげるようになりました。



ひいこ、ぽんたくん、ごんたくん  
いままで、ごめんね。

これからは、  
なまけないで、たべものも とりに行くね。



わかったよ。  
これからは、なかよくしようね。

とんたくんのことが  
きらいだった ごんたも なかなおりしました。

4ひきは、なかよくなりました。

それから、  
なににちかすぎたある日、

4ひきは  
みちに、たおれているおじいさんを  
みつけました。



おじいさん  
どうしたの だいじょうぶ？



それじゃ、さっそく、  
みんなでたべものをとりにいこう。

そうって、ぽんたは、  
山にいった、木のみやくだものを とりにいきました。

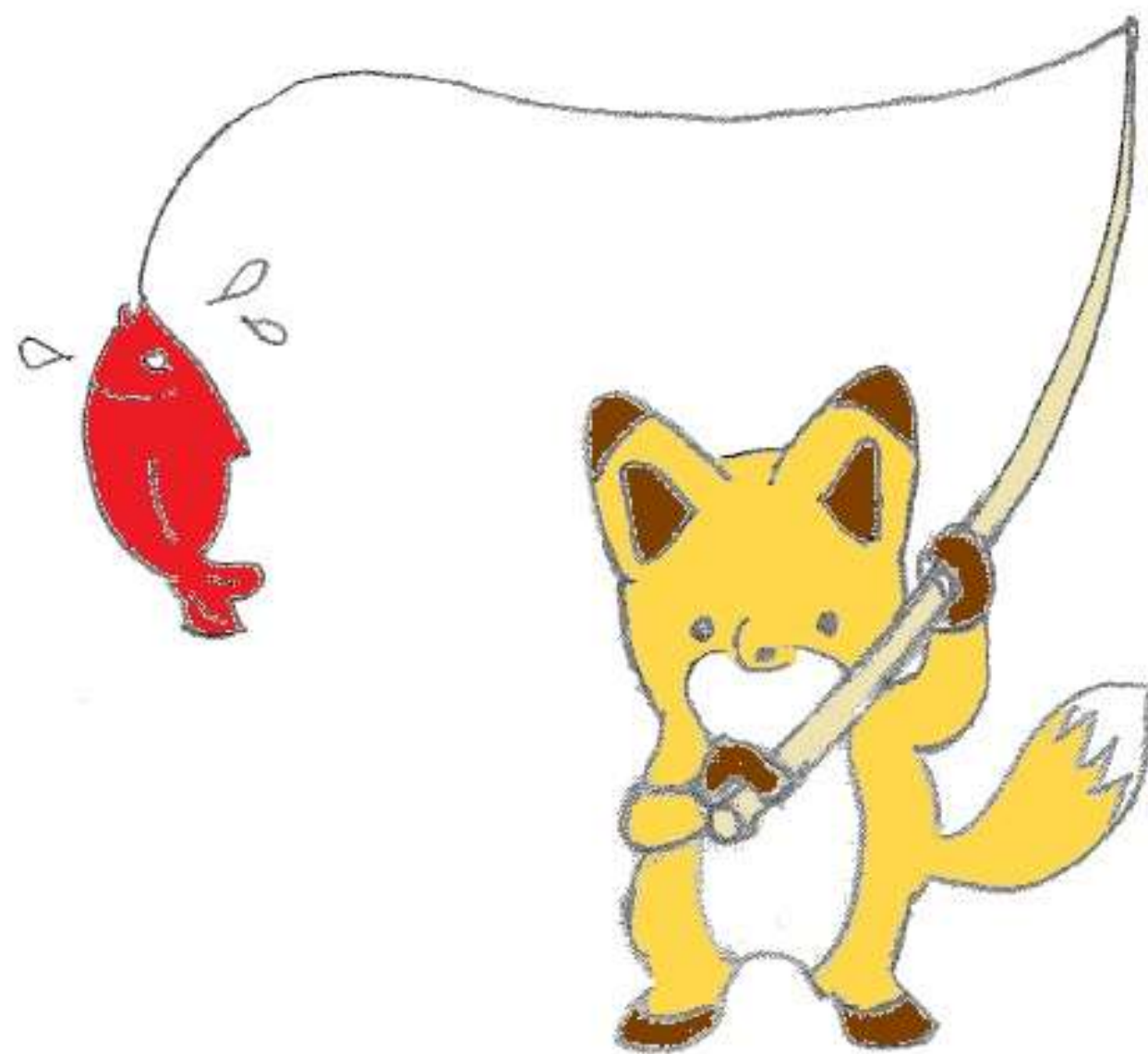
ごんたは、  
川にいった、さかなを つかまえにいきました



この木のみは、  
おじいさんも  
きっとよろこんでくれるだろう。



おじいさんも  
おいしいさかなを食べたら、  
きっと げんきになるだろう。



ひいこ と とんたは、  
なにか たべられるものをさがしに、  
はらっぱに いきましたが、  
おじいさんが たべれるものは みつかりません。



ここには、  
いつもたべている くさしかないわ  
おじいさんのために、  
たべものをさがさないと、  
がんばらないと...



ひいこ、  
ここには おじいさんが  
たべるものは、  
なにもないよ。



そこで、とんたは、  
山のふもとののはたけまでいき、  
ニンジンやダイコンなどを ぬすんできました。

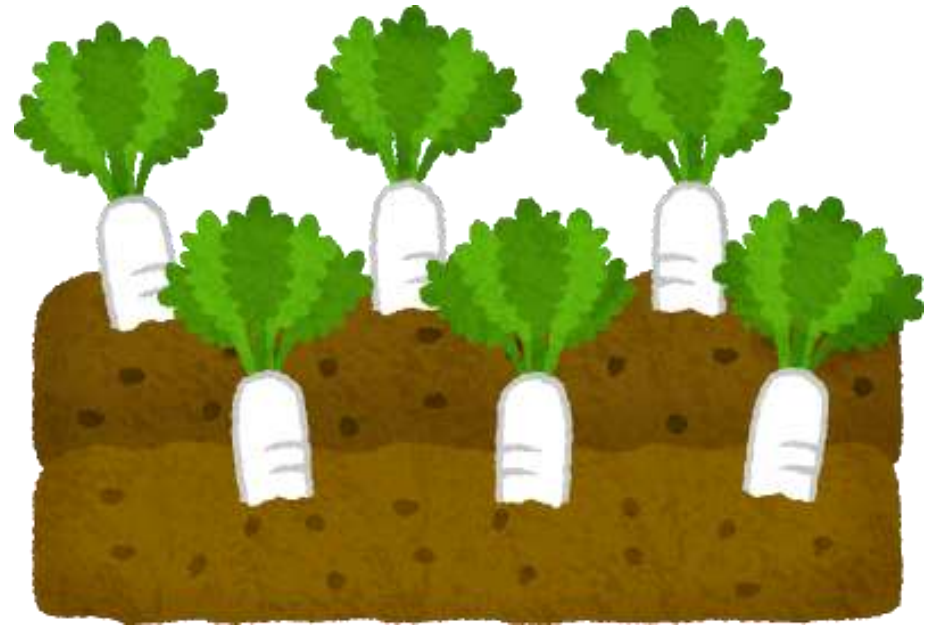


ひいこのぶんまで、  
たべものをとってきたよ、



みんなのおかげで、  
おじいさんは、げんきになりました。

つぎの日も、  
ぽんたは山へ、ごんたは川へ、  
とんたは、はたけにいて、  
やさいをとってきました。



ひいこは、  
おじいさんのために、  
たべものさがせたかなあ



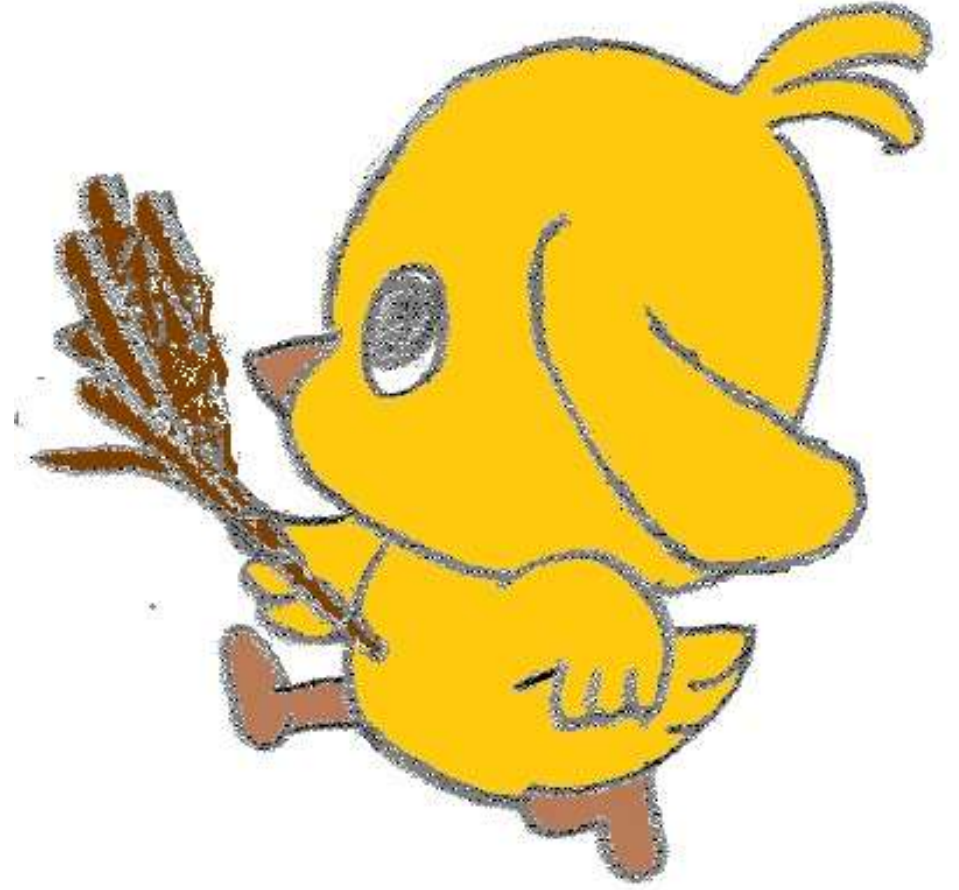
ああ、  
おじいさんがたべるもの  
になにもないわ。

どうしよう？





なやんだひいこは、  
つぎの日、  
はらっぱでなく、山にいき、  
かれ木を ひろいあつめました。



とりあえず、  
かれ木は、あつめられたわ。



ひいこ、  
おじいさんのたべものは さがせたの？



たべものじゃなく、  
かれ木なんか あつめてどうするの？



とんたくん  
おねがい このかれ木に、火をつけて、

とんたくんが、  
かれ木に 火をつけると、

かれ木は、  
いきおいよく もえました。



ひいこは、おじいさんに



おじいさん  
なにも たべものをとって これませんでした。  
だから、  
せめてわたしをたべてね...

そうって、  
火の中に、とびこんでしまいました。

そして  
ひいこは、死んでしまいました。

おじいさんも、  
ぽんたも、ごんたも、  
そして、とんたも  
みんなが、かなしみました。



おじいさんは、  
死んだひいこのことを おもいながら、  
ひいこをたべてしまいました。



どうして、  
ひいこをたべたりするんだよ。

とんたは、  
ひいこをたべたおじいさんを ゆるせませんでした。

ぼくは、はたけでやさいを ぬすんできたけど、  
きっと、やさしいひいこは、  
やさいをぬすむことなんて できないだろうなあ。

こんなことになるんだったら、  
ひいこといっしょに たべものをさがすんだった…

そして、とんたは、  
もう はたけで やさいをぬすむことをやめました。

そして、それからのとんたは、  
人のたべのこしたもののしか たべなくなりました。



ひいこ  
どうして、死んだんだよお～

ぽんたとごんたも、  
ひいこが 死んで すごくかなしみました。

そして、  
ひいこを たべたおじいさんを きらいになりました





かみさまは、  
「じぶんが されたくないことは  
人にもしないこと」っといっていたのに、

どうして、みんなが かなしむのに  
火の中に、とびこんだりしたんだよお



そうだよ、  
死んじゃったら、  
ほくらが かなしむことぐらい  
わかったはずなのに...



でも、  
ひいこをたべた にんげんはゆるせないよ。

もうにんげんに  
うまれかわらなくてもいいや。



ぼくも、  
にんげんがきらいになったよ。

だから、きらいなにんげんを  
ダメしてやるんだ。

そして、ぽんたとごんたは、  
いっしょうけんめいに、人をだますことをおぼえました

ぽんたとごんたも 大きくなり、  
ばけるのも うまくなりました。

もう、人をだますことも できるようになりました。

そして、  
きれいなにんげんを だますようになりました。





ねえ、かみさま、  
ひいこは、にんげんにうまれかわれるの？



ひいこは、  
にんげんに うまれかわったら

「こまったときに、  
たすけてもらえるような  
にんげんになりたい」  
って、いっていたから、

きっと、  
みんなから すかれるにんげんに  
なれたんだらうなあ



そうだよ。  
やさしかったひいこは、  
きっと、みんなからすかれる  
にんげんに うまれかわったよ。

そのご、  
ひいこは、にんげんにうまれかわったのか？ だって、



ひいこは、  
マザーテレサのような、  
やさしい女の子にうまれかわったよ。





おしまい

